

声かけとさりげない見守りで、
高齢者に優しい地域づくりを

介護を一人で頑張っているために
いつもの自分であれば絶対にしない
ようなことでも起こってしまうのが
高齢者虐待です。

高齢者虐待を防止するためには、
地域全体で高齢者とその介護者を
見守り当事者が周囲に助けを求める
ことができる環境づくりをしていく
ことが大切です。



一人で抱え込まないで心身ともに
余裕をもって介護を続けるためには、
サービスや制度を利用することも大切
です。

高齢者虐待の相談窓口

気になる高齢者がいましたらご相談ください。相談者の
秘密は守られます。

◆地域包括支援センター

担当地区	名称	所在地/電話
坂浜・平尾	地域包括支援センターひらお	稲城市平尾 2-49-20 (ひらお苑内) 042-331-6088
押立・矢野口	地域包括支援センターやのくち	稲城市矢野口 1804-3 (やのくち 正吉苑内) 042-370-2202
大丸・東長沼 ・百村	地域包括支援センターエレガントもむら	稲城市百村 255 (いなぎ苑内) 042-379-5500
向陽台・長峰 ・若葉台	地域包括支援センターこうようだい	稲城市向陽台 3-4-4 042-370-0040

◆稲城市役所 高齢福祉課地域支援係

東長沼2111

☎042-378-2111

(内線 220、227、228)



稲城市高齢者虐待対応ワーキングチーム作成

みんなの優しさで 防ごう高齢者虐待

介護している方が孤立しないために



こんなことが虐待になります

複数の虐待が同時に行われている場合があります。

- たたく、つねる、殴る、蹴る、やけどを負わせる、ベッドに縛り付けるなど

身体的虐待

- 怒鳴る、ののしる、悪口を言う、無視する、子ども扱いするなど

心理的虐待

- 空腹、脱水、栄養失調の状態のままにする、おむつなどが汚れている状態を放置する、劣悪な状態や住環境の中に放置するなど

介護・世話の放棄・放任

- 日常的に必要なお金を渡さない、使わせない、本人の年金、預貯金などを本人の意思・利益に反して使用するなど

経済的虐待

- 排泄の失敗などに対して懲罰的に下半身を裸にして放置するなど

性的虐待

高齢者虐待に気付くための

チェックリスト

高齢者本人の様子

- 汚れたままの服装や、悪臭の強い状態で過ごしている。
- 表情が硬く、怯えている。また、人に会うのを避ける。

家族等の様子

- 経済的に苦しいので、病院に連れて行くことを控えている
- 他人の関与を必要以上に拒絶する。
- 徘徊してしまうので、部屋からでられないようにしている。
- 高齢者に対し過度に乱暴な口のきき方をする。



誰もが意識せずに「虐待」をしてしまっていることがあります

相談が寄せられたあとの流れ

「もしかしたら…」と思ったら迷わず相談・通報をしましょう。第三者が介入することで虐待の深刻化が防げます。

相談

- 「最近姿を見ない高齢者がいる」
↓ 「不自然な怪我をしている」
「新聞が何日もたまっている」など

高齢者の安全を確認します



個別ケース会議



関係者で話し合いをします

関係機関・関係者による

支援の実施

- ↓ 介護保険サービス
地域での見守り活動

定期的な訪問、継続支援

